

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

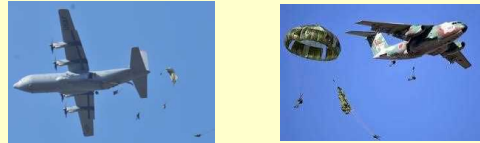
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信
- 重要施設等防護（基地警備等）



※ 演習前後の期間において、自衛隊の航空機が大分空港を利用します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 大分県内における訓練について

本演習において大分県内で実施する訓練は、

- ① 統合通信訓練
- ② 共同統合対艦戦闘・機動分散運用
- ③ 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練、対着上陸戦闘訓練（空挺降下）、訓練準備等）
- ④ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ⑤ 実証実験（小型無人機対処訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

大分県内で実施を検討している訓練内容

① 統合通信訓練

大分県においては、陸上自衛隊の通信部隊が両子山、八面山、唐木山、野稻山、佩楯山及び釈迦岳に展開し、通信の中継を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木） 通信中継

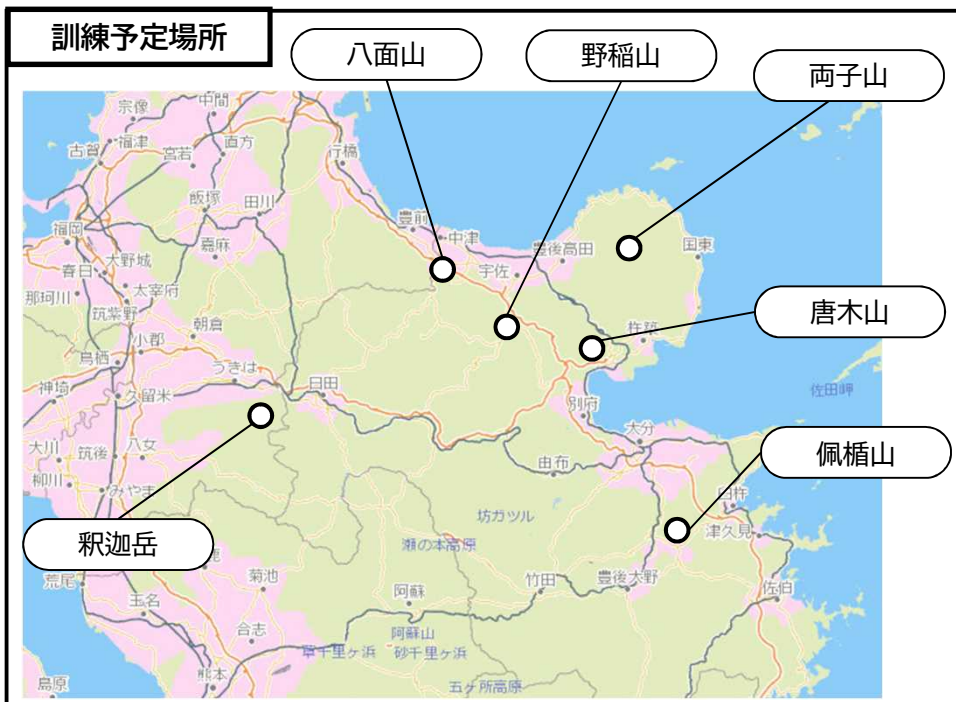
※ 上記の訓練実施前の令和8年10月10日（土）～18日（日）の間に
おいて、電波地誌調査を実施する予定です。

※ 訓練期間中、夜間においても通信の中継を実施します。

【参加部隊】陸上自衛隊：約30名（第4師団）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



通信中継



電波地誌調査

大分県内で実施を検討している訓練内容

② 共同統合対艦戦闘・機動分散運用

航空自衛隊の戦闘機部隊及び輸送機部隊が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。その際、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機部隊及び輸送機部隊が大分空港に一時的に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】航空自衛隊：西部航空方面隊 第5航空団、輸送航空隊等

【大分空港展開】人員約55名、F-2戦闘機×2-4、KC-46空中給油機×1又はKC-767空中給油機×1、

※ 訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（C-130H又はC-2）の運航を計画する可能性があります。

訓練イメージ



大分空港



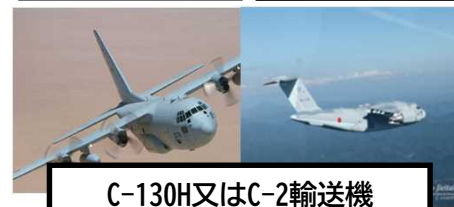
F-2×2-4
(築城基地所属)



KC-46×1
(美保基地所属)



KC-767×1
(小牧基地所属)



C-130H又はC-2輸送機

①四国沖での訓練前、大分空港に展開 又は
②四国沖での訓練終了後、大分空港へ帰投
※期間中、1日1回の運航を計画しています。
なお、夜間の運航は計画致しません

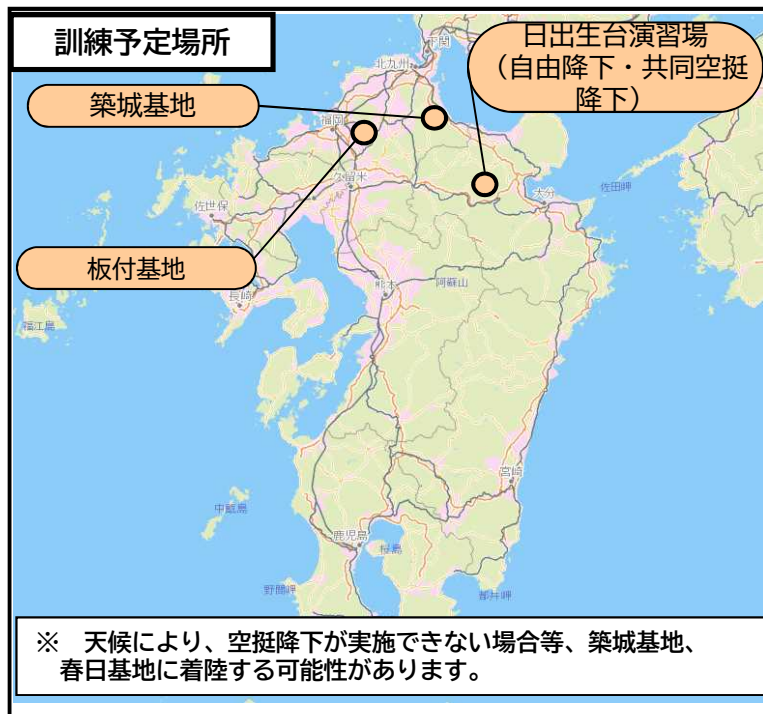
※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

大分県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練（空挺降下））

航空自衛隊の輸送機（C-130H及びC-2）及び米軍の輸送機（C-130J）から昼間の自由降下・共同空挺降下訓練を日出生台演習場で実施する計画です。
 なお、訓練間、武器（小銃等）を携行し、空包を使用する予定です。

【期 間】 令和8年10月25日（日）～29日（木）：自由降下訓練、共同空挺降下訓練
 【参加部隊】 陸上自衛隊：第1空挺団（約300名）
 航空自衛隊：第1輸送航空隊（C-130H×2）・第2・3輸送空輸隊（C-2×2）
 米 軍：第11空挺師団（約130名） 米空軍（C-130J×2）



訓練イメージ



大分県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（対着上陸戦闘訓練）

日出生台演習場においては、日米の共同調整所における指揮機関訓練、対着上陸戦闘訓練、非実射による対艦戦闘訓練、日側単独による電磁波訓練、対空戦闘訓練、情報収集訓練、兵站訓練、衛生訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施します。

電磁波訓練においては、実際に電波を発射いたしますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

十文字原演習場においては、兵站訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機駐機、燃料補給、整備等を実施します。この他、日側単独で着上陸戦闘訓練、非実射による対空戦闘訓練を実施します。

大分港においては、日出生台演習場、大矢野原演習場及び霧島演習場等の訓練に参加する日米の部隊等の展開及び撤収のため、日米の航空機、日米の艦艇及びPFI船舶による輸送するために使用する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）※米軍については、10月22日（木）～28日（水）の間、共同訓練に参加し、その前後約3日間程度において準備・撤収を実施します。

【参加部隊】陸上自衛隊：陸上総隊、中部方面隊、北部方面隊、第1空挺団、第2高射特科団、西部方面システム通信群、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊等、88式地对艦誘導弾、03式中距離地对空誘導弾、93式近距離地对空誘導弾、155mm榴弾砲、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲、ネットワーク電子戦システム（NEWS）、16式機動戦闘車、UH-1、AH-64、UH-60、CH-47、PFI船舶等

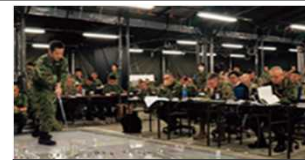
航空自衛隊：C-2、C-130

米 軍：第12沿岸海兵連隊、無人偵察機、LCU等

訓練予定場所



訓練イメージ



指揮機関訓練



（日）電磁波訓練



（日）衛生訓練



対着上陸戦闘訓練



（日）対空戦闘訓練



（日）駐機・燃料補給・整備等



対艦戦闘訓練



（日）兵站訓練

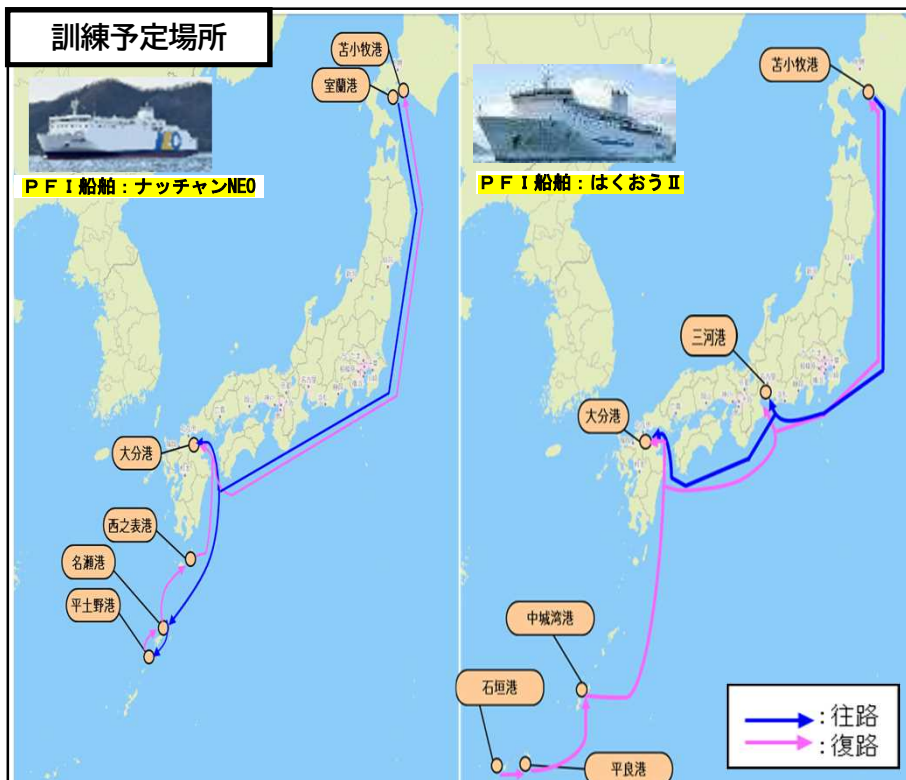
大分県で実施を検討している訓練内容

④ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

P F I 船舶等で北海道から九州、沖縄まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

- 【期 間】 令和8年10月5日（月）～11月6日（金）ナッチャンNEO
 ※大分県大分港の利用は往路10月8日（木）～10日（土）、復路11月3日（火）
 令和8年10月3日（土）～11月10日（火）はくおうⅡ
 ※大分県大分港の利用は往路10月7日（水）～8日（木）、復路11月5日（木）～6日（金）
- 【参加部隊】 陸上自衛隊：第2師団、第8師団、第2高射特科団、第8高射特科群、第2地对艦ミサイル連隊
 海上自衛隊：下総サイバー防護隊
 航空自衛隊：基地防空教導隊
- 【使用装備品】 輸送品：部隊車両、部隊人員
 その他：P F I 船舶（ナッチャンNEO、はくおうⅡ）
- 【実施地域】 大分港（その他、北海道、愛知県、鹿児島県、沖縄県の各港湾を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



【PFI船舶：ナッチャンNEO】

往路にて10月8日（木）～10日（土）に北海道から輸送した部隊を下船させます。

復路にて11月3日（火）に往路で輸送した部隊を乗船させ、鹿児島県の種子島から輸送した部隊を下船させます。

【PFI船舶：はくおうⅡ】

往路にて10月7日（水）～8日（木）に北海道から輸送した陸自、空自部隊を下船させ、陸自部隊を乗船させ出港します。

復路にて11月5日（木）～6日（金）に陸自、空自部隊を乗船させ、一部の海自部隊を下船させます。

大分県で実施を検討している訓練内容

④ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

チャーター貨物船で九州（大分港）から沖縄県（うるま市米軍天願棧橋）まで陸上自衛隊の物資をコンテナで輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月18日（日）～10月20日（火）

※大分県大分港の利用は10月18日（日）予定

【参加部隊】防衛省：統合幕僚監部、統合作戦司令部

陸上自衛隊：陸上幕僚監部、西部方面総監部、西部方面後方支援隊、中央輸送隊、補給本部

【使用装備品】陸上自衛隊の20フィートコンテナ×15本

その他：チャーター貨物船（細部調整中）

【実施地域】大分港（その他、沖縄県うるま市米軍天願棧橋を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



【チャーター貨物船】

10月18日（日）大分港で陸上自衛隊の20フィートコンテナ×15本を搭載後出港、20日（火）に沖縄県うるま市の米軍天願棧橋に入港、以後搭載してきたコンテナを起重機船を使用し陸揚げします。コンテナに、ミサイル、砲弾等の弾火薬類の危険物は搭載しておりません。

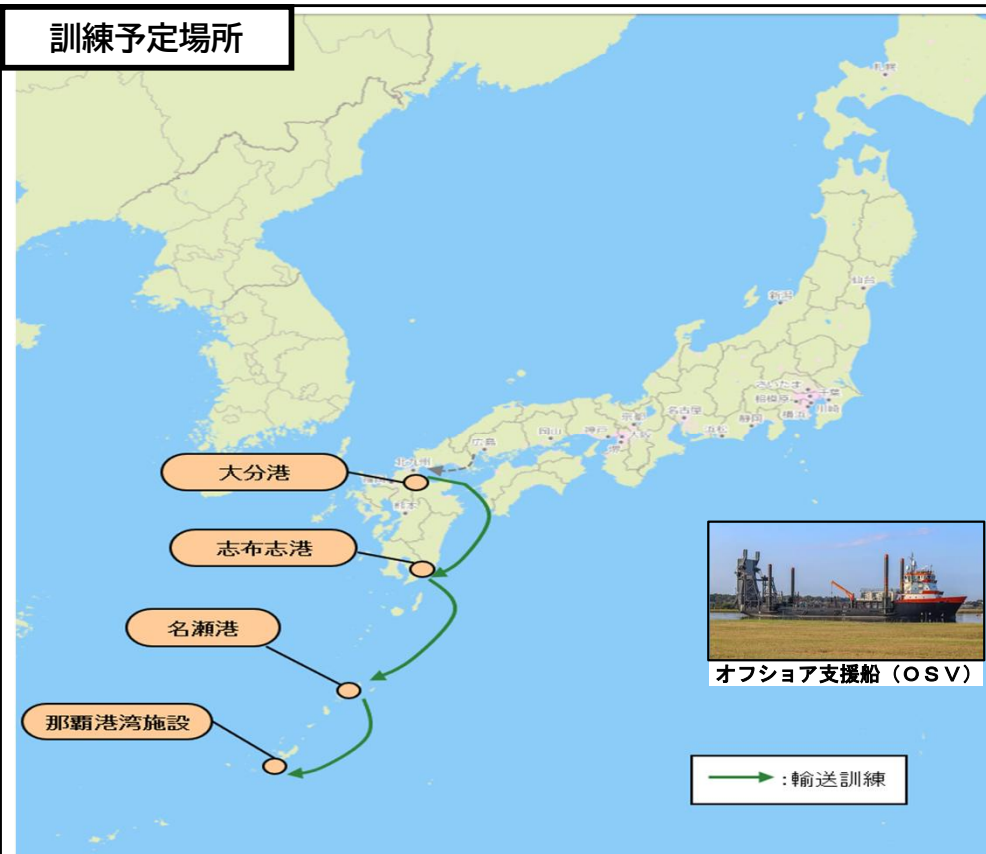
大分県で実施を検討している訓練内容

④ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

オフショア支援船（OSV）で大分県大分港から鹿児島県志布志港、奄美大島（名瀬港）を經由し沖縄県那覇市（那覇港湾施設）まで陸上自衛隊の物資コンテナを輸送する訓練を実施します。

- 【期 間】 令和8年10月14日（水）～10月22日（火）
 ※大分県大分港の利用は10月14日（水）～16日（金）前後
- 【参加部隊】 陸上自衛隊：中央輸送隊、補給本部、西部方面後方支援隊
 米 軍：米陸軍
- 【使用装備品】 輸送品：20フィートコンテナ×23（コンテナの中身：糧食・水）
 その他：オフショア支援船（OSV）1隻
- 【実施地域】 大分港（その他、鹿児島県、沖縄県の各港湾を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



【オフショア支援船（OSV）】

10月14日（水）大分港入港後、20フィートコンテナ×23本を搭載、16日（金）大分港を出港。17日（土）鹿児島県志布志港へ入港、他の日本側輸送部隊と合同し、18日（日）出港、19日（月）に鹿児島県奄美大島名瀬港に入港。大分港で搭載したコンテナ（11本）を卸下し、21日（水）同港を出港、22日（木）那覇港湾施設へ入港、残りのコンテナ（12本）を卸下します。

沖縄県での卸下後、米軍貨物船は米軍計画で母港の神奈川県に帰投します。

コンテナに、ミサイル、砲弾等の弾火薬類、燃料等の危険物は搭載していません。

大分県内で実施を検討している訓練内容

⑤実証実験（小型無人機対処訓練）

小型無人機対処訓練は、統合電磁波作戦訓練・統合防空ミサイル防衛訓練に連携して行われます。
 実証実験のため、陸上自衛隊の高射学校が以下に示します訓練予定場所に展開し、無人航空機に対する電波状況の確認等を実施します。

【期 間】令和8年10月21日（水）～10月29日（木） ※ 準備・撤収期間を含め約5日間を想定
 【参加部隊】陸上自衛隊：高射学校 約10名（電波状況確認車両含む。）×4両

